

宇部のコミュニティ・スクール

地域連携教育への期待

「何のためにコミュニティ・スクール（以下、CS）として取り組んでいるのか。」「CSを推進することによって、どんな学校をつくらうとしているのか。」を学校・保護者・地域が共有することが、今大切とされています。CSに期待されることを確認し、子ども一人ひとりを大切に教育が充実されたり、学校を核の1つとした地域づくりが進んだりすることに期待します。

◎「コミュニティ・スクール」の取組紹介

船木小学校運営協議会

2月21日、第4回学校運営協議会が開かれました。学校評価の結果説明に続き、参観日の授業参観がありました。参観する中で6年生の「船木について考え、意見交換をしてみよう」が心に残りました。子どもたちが保護者と一緒に、船木のよいところや自慢をKJ法で集め、地域に必要なもの・ことのアイデアを出し合うという学習でした。子どもたちがふるさとのよさをよく学んでいることに感心しました。今後、地域の方も参加して学習するということで、未来のふるさと・地域づくりの夢を大人と子どもが語りあえる素敵な学習になると期待しました。

第2回 地域連携教育アドバイザー・統括コーディネーター合同研修会

2月20日、県庁で地域連携教育アドバイザー、統括コーディネーター、県内のCS及び地域協育ネット担当者による合同研修会・合同会議がありました。ポスターセッションを通し、他の市町の「やまぐち型地域連携教育」推進状況や課題を共有し、今後の推進体制強化を図る上で参考となる事例を知ることでできた貴重な機会となりました。



【本市の発表は、多くの参加者を集め熱気に溢れていました。】

第3回 宇部市コミュニティ・スクール推進協議会

2月26日、ときわ湖水ホールで今年度最後の市CS推進協議会が開かれました。所管説明に続き、神原中学校校長 中村 昇 様による「地域とともにある学校づくり」の事例発表がありました。

学校が地域とめざすものを共有し、連携協働する取組が発表されました。学校課題を地域に開き、学校運営の質を向上させようとする学校経営戦略が明確なことで、学校を核とした安心で活力ある地域づくりの取組を充実しようとしていることが印象的でした。



【着実に地域とともにある学校づくりを進める力強い発表でした。】

ふれあいセンター館長及び職員研修会

3月7日、勤労青少年会館で、「CSを活用した地域づくり」をテーマとする、ふれあいセンター館長及び職員研修会が行われました。

宇部フロンティア大学短期大学部教授 伊藤 一統 様による、ふれあいセンターが地域づくりの拠点としてCSや地域協育ネットとどう関わるかの講義は、市のCSの取組を充実させる上で大変参考となる内容でした。



【地域資源をつなぐ役割に大きな期待が寄せられます。】

コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail : ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp